

## 大文字駅伝3年連続本選出場

11月2日(木)

鴨川の河川敷で行われた大文字駅伝支部予選会で、「チームたかくら」は、みごと2位に輝き、2月の大文字駅伝への出場権を得ることができました。10校の先頭を切ってスタートしたレースは、抜きつ抜かれつを繰り返し、御所南校に次いでゴールに入りました。

毎日、朝夕走り込みを続け、みんなで手にした出場権です。本戦でも、一人一人のもてる力を出し切って、たすきをつないでほしいと願っています。

運動場にコーンを並べ、自主的に走り込みを続けている6年生の姿を下学年の子どもたちが憧れのまなざしで見つめ、一緒に走っています。

予選会では、数多くの方々にご声援いただきました。ありがとうございました。また、本戦でも温かいご声援をよろしくお願いいたします。



## 研究発表会

11月22日(水)



小中一貫コミュニティ・スクール教育研究発表会が行われました。全国から300名の参観者がありました。公開授業では、自分の考えを堂々と話している子どもたちの姿や、粘り強く課題に向かって友だちのよさを認め合う姿に、確かさと豊かさを兼ね備えた学びができていたと褒めていただきました。

また、全体会では、<学びの五感>という言葉を教えていただきました。

- 1 切実感(学ぶという意味)
- 2 期待感(待ち遠しい)
- 3 有能感(これならできる)
- 4 受容感(受け入れられる)
- 5 満足感(よく分かったよ)

学級づくりが学校づくりにつながっています。その土台は、1時間1時間の授業づくりでもあります。

子どもたち自身が学びの五感を実感できる授業を、今後も構築していかなければと思います。

午後からは、会場を京都御池中学校に移し、6年生と中学生の共同の音楽の授業と、中学校英語教員による英語の授業を公開しました。ここでも、子どもたちは生き生きと学習に臨み、豊かな学びの姿を見ていただくことができました。

研究発表会を盛会のうちに終えられましたのは、保護者・地域の皆様方の支えがあってこそでした。研究前の校内清掃・トイレ掃除をはじめ、当日のお手伝いまで、たくさんの方々にご協力いただきました。心より感謝いたします。ありがとうございました。



## お年寄りと子どものふれあい広場

11月11日(土)



7学区の社会福祉協議会主催の「お年寄りと子どものふれあい広場」が開催されました。(スマイル6部会共催)「子ども六斎」の元気な太鼓の音色が、体育館いっぱいに響き渡って開幕しました。

その後、童謡歌手のリサ・ガーシュテンさんのミニコンサートが開かれました。リサさんは、ロサンゼルス出身。1989年に来日されました。紺のもんぺを着て、ひざには紅葉したもみじのアップリケが縫いつけられていました。赤い鼻緒のぞうりを履き、昔懐かしい童謡の数々を情感たっぷりに歌っていただきました。

その後、「四季の歌」を手話を交えながら歌いました。1週間、手話の練習を続けた3年生の4人が前に出て、4番までの歌詞を一つずつ解説していきました。

学区ごとに子どもたちとお年寄りが手話の練習を行って、最後はみんなで手話を交えて大合唱して終わりました。

笹倉先生のピアノと松本先生のヴァイオリンのBGMが流れる中、ほのぼのとした心温まる交流ができました。この取組が、いつまでもお年寄りと子どもたちの心を、さらには地域の人たちの心をつなぐ場であるようにと願っています。

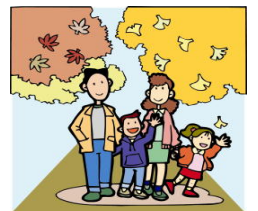


## 自然教室 京大農場

11月25日(土)

上賀茂にある京大の試験地で自然教室を行いました。(スマイル4部会の主催)山の木々が美しく紅葉し、子どもたちは夢中になって葉っぱを拾い集めていました。施設を説明後、午前中は山の中を探索して回りました。大きな松ぼっくりやウラジロ、木切れなどを袋いっぱいに集めました。

午後は、それらを使って、クリスマスリースや紅葉のしおりを作りました。どの作品もとても素敵な個性あふれるものに仕上がりました。

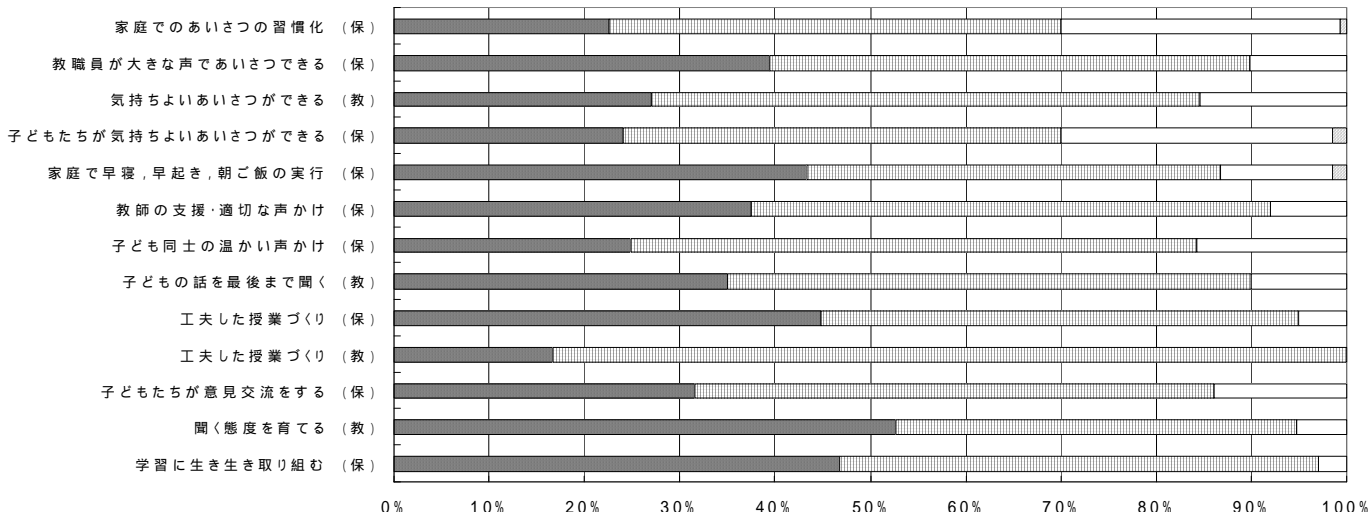


## 研究発表会アンケート

教:教職員自己評価

保:保護者の方からの評価

■よくできていた □できていた □もう少し □できていなかった



研究発表会に行いましたアンケートの結果です。

保護者からは、  
・家庭における生活習慣の実行  
・工夫した授業への共感  
教職員からは、  
・聞く態度を育てるための努力  
・挨拶の見本となる姿勢の提示  
などという結果が得られました。

今後、さらに気持ちのよい挨拶がいきかたう取組をめざして、子どもたちにはたらきかけていきたいと思います。

